



「郡山市 / 四季の里緑水苑」

数年前叔母の葬儀の為に一人で運転して高速に入った時、標識が真白で見えずシヨックだった。仙台市内に入り従兄達と重なるとか合流出来た。この事があって免許を返納した。48才で免許をとり、県内外と運転し、無事故無違反で来た事が嬉しかった。

83才で免許返納後5日後に、異変が起きた。縫い物をしていた最中、糸止めが出来ない。一息入れるためのコーヒーマグがだんだん下がっていく。不安になり娘に連絡「すぐ車に乗って」30分も経たず竹田病院に着いた。ストレッチャーに乗りCT、MR等の検査、画像を見た時、卵の殻がついた様に中心部分が真白になっていた。「脳梗塞」の特徴だよと云われ、入院生活が始まった。左目、左口許が左に下がり、手でキュウと上げたら元に戻った。

翌日からリハビリだ。一番苦労したのは歩行訓練、廊下を歩くのも苦痛だ。所々置いてある椅子にすぐ休む。(普段あまり歩かなかつたと後悔も遅い!)それでも介護士さんは辛抱強く

「脳梗塞を患って」

見守り、励ましてくれた。「あせらず」の繰り返し、その言葉に励まされたが、自分が情けなかった。1ヶ月も経たないのに「いつ退院しても良いよ」の許可が降りた。

薬を飲み乍ら半年経った時、病院に行きレントゲン撮った。画像には白い部分が撮っていた。「治ってるよ」と云われた時は、本当に嬉しかった。しかし部屋の中、外では杖が離せずにいる。

今ではデイサービスに週1回2時間程、運動に脳トレゲームをしている。短い時間でも、つい夢中になり和気合い合いとスタップの皆さんに支えられ、見守られ乍ら過ごしている。

皆様、身体の小さな異変「おかしい」と思ったら、すぐに病院へ。私が身体をもって体験し本当に軽くて良かったと思うと同時に、又いつ起きるか解らない変化に、気をつけたいと思う。今日此の頃である。

齊藤 幸子 86歳

新型コロナウイルス感染予防対策

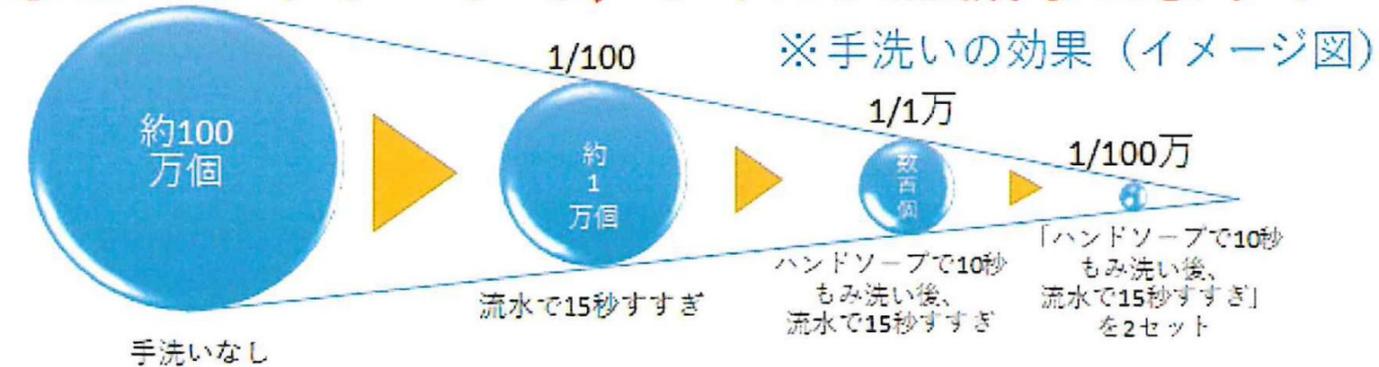
「手洗いのすすめ」



手洗いの、5つのタイミング



水とハンドソープで、ウイルスは減らせます!



新型コロナウイルスの感染経路として
飛沫感染のほか、**接触感染**に注意が必要です。

そのうち、目、鼻、口などの**粘膜**は、**約44パーセント**を占めています!



厚労省

検索



介護に関する 「お困りごと・ご相談事は」



- ・ 本社営業 0242-25-0620
 - ・ 喜多方営業所 0241-23-5170
- までご連絡ください

「白虎隊の退却（戊辰戦争）」

二十三日午前三時ころ、猪苗代を出発した官軍の主力は前日に十六橋を占領した先発部隊と合流した兵力は約二千六百人ほどだった。これを迎え撃つ会津の兵力は左翼に敢死隊、中央に奇勝隊、右翼に白虎隊を配し、これに遊軍奇合組、足軽白虎隊の一部、猪苗代隊の敗兵を加えても五百人に満たなかった。そのほか湖水周辺の要所を固めていた。ある隊が猪苗代城の方角に火の手を見て変事があったことを知り、敵を十六橋でくい止めようと戸の口に急行したが官軍の行動が早く間に合わなかった。



佐藤 一男

戸の口原では戦死者は一人もいなかった。白虎隊員は捕虜になるのを恐れて負傷者を助けながら退却したが、楽しみにしていた戦争というものを信じていられない気持ちだった。退却途中で木の根で転んだり、また、湿地に足をとられたり、連絡もなくばらばらになるなど苦しみの連日だった。

西川勝太郎は「こんな少数では、残念ながら犬死になるかもしれぬ」と聞いてこれを制した。「それよりも今から城に帰ってお殿様の守護にあたり、いさぎよく城を枕に討ち死にしたほうがよいのではと・・・述べた。みんなの目の前に空高い鶴ヶ城の天守閣が幻のように現れては消え、天守閣は会津武士の精神的な象徴だった。」

次月号に続く

「介護用品あれこれ」

昭和村 本名 幸平

年をとって身体が思うように動かせなくなった父や母を介護しながら暮らしている。「こんなものがあればいいのになあ」と感じたことが何本もありました。ひとつには、色とにおいを同時にすばやく安全に消してくれるスプレーのようなもの。父も母も自分の大便を手や指でつかみ、よごれたその手や指で戸やタンスや机やベッドなどにつかまります。家の中のあちこちに大便がついてしまい、異臭も漂います。「いま、お客様が来たらどうしよう」と、いつもハラハラ、ドキドキしながら暮らしていました。

ふたつには、ガラス戸がパリーンと割れてしまうのを食い止めるカバーのようなもの。わが家の一枚一枚の戸は、上から障子紙・ガラス・木の板で作ってあります。父も母も家の中でフラフラと身体のパランスをくずした拍子に、あちこちの戸にぶつかります。ガラス片が飛び散って、危なくてしかたありません。せめてガラスの部分にだけでも割れるのを防ぐカバーのようなものを取り付けられたらなあ、いつも思っていました。

みつつには、ゴロンと横になった時に、自動的に柔らかくくらくらむ長さぶとんのような敷物。父も母もコタツのわきに横になって眠りかけてしまいます。座ぶとんや毛布などがあってもうまく使いこなせません。横になった時、自動的にふくらんだり温度調節できたもの。よだれや鼻水をたらしても清潔さが保てるような、クッション性のある敷物。

そのほか、「こんなものがあればなあ」と感じたことが多々ありました。介護福太郎の皆様とも情報交換してみたいものです。「こんなことで困っています」「フィンランドでは、こんな器具を開発中との情報が入りました」・・・活気溢れるやりとりになりそうです。

山の中
いのちの限り
咲くは
いとしい
てぬたやうり

コロナ
おそれて
家に
こもれば
老いの心
増すばかり
たまらなく
行って
みたい学

2021.3.31.
作「野邊 学」

俳句 北山白百合俳句会

春風や検査結果に足軽し
中川 幸恵

晴れし日の熊谷早の花の数
鈴木 隆一郎

春かぶを食みて思はる母のこと
武藤 敏子

種芋を畑の土へ入れにけり
佐藤 信子

短歌

自問自答自問自答の日々の中
自問自答して春種もとむ

コロナ禍に友の小屋根で歌の会
M 子
燕とび交う風薫る中
鈴木 キミ子

初よもぎ摘みつつ思ふやせ馬を
母の作りし形を真似て
五ノ井 星子

白雲の棚引くあはひ十六夜の
澄いろの月のかがやく
坂内 久美子

俳句

廃線の駅舎の跡やつばめ飛ぶ
松 みどり

ワクチン予約日課なり風薫る
よう子

川柳

花に蝶人は情けにほだされる

スケッチ画

白寿坂弱音は吐かぬ土踏まず
合掌をして一日の灰汁を抜く
動くのが好きとくの字の腰伸ばす
コロナ禍が会津の空を暗くする
いきいき倶楽部で
ちよつぴり若さUターン
川島 英雄

長所も
短所も
ひくもめて
わたいてい
高寿

作「高田 壽治」

絵てがみ

【お詫びと訂正】
4月掲載致しました、五ノ井星子様の短歌の一部に間違いがございました。心よりお詫び申し上げます、訂正させて頂きます。
如月の逝きて弥生を逝へしを
気温やさしく厚きものを脱ぐの、「逝へし」は、「迎へし」になります。

作「渡邊 鶴子」

私たち社員一同で
真心を込めたサービスと
感動を提供します。

福祉用具レンタル・販売・メンテナンス
プライムケアイースト株式会社
http://www.pc-east.com

燃料油のご用命は当社にまかせください！

ENEOS

JXTGエネルギー(株)特約店

株式会社 栗林商店
代表取締役社長 栗林 陽志

〒965-0042 会津若松市大町二丁目5-8
TEL 0242-22-3930 FAX 0242-22-2335

車のことなら何でもおまかせください

有限会社 大島ボテイ

〒965-0080
福島県会津若松市神指町橋本59番地
TEL0242-24-7585 FAX0242-32-0775

厚生省生衛第134号

全国介護環境整備協同組合

株式会社 アンミン

〒992-1125
山形県米沢市万世町片子5152
TEL0238-21-4340 FAX0238-24-0166